



しらやま

白山小学校だより No.37

令和2年2月3日

◆◆◆◆◆ 今〇ら ◆◆◆◆◆



いよいよ2月(如月)を迎えました。この2月は別名『衣更着』(如月)とも言われるように、いつもなら寒さが一段と増す時期です。そんな中、2月4日は立春で、暦の上ではもう春を迎えます。一步一步近づいてくる春の足音を感じながら、子どもたちには健康に注意して生活してほしいものです。

そこで、先月29日の全校朝礼では、どんな気持ちで生活したらよいか「今〇ら」についての話をしました。

1つ目は、「今〇ら」です。3学期の登校日はこの日であと37日(6年生は33日)。「37日しかない」と考えると、「もう、今さら」という投げやりで、あきらめかけた後ろ向きな気持ちになってしまいます。2つ目は、「今㊦ら」です。「3学期はまだ37日あるぞ」と考えれば、「さあ、今から」だという希望や期待、「がんばるぞ」といった決意が伝わるようになります。3つ目は、「今㊧ら」です。やる気になった今こそがスタート。この言葉からは決意や勇気、一歩踏み出して行動するんだという前向きな気持ちが伝わってきます。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われますように、3学期は時間の流れがとても早く感じられます。それだけに子どもたちには、一人一人が「今から」「今なら」の気持ちをもって生活してほしいことを力を込めて話しました。

心が変われば行動が変わるものです。私自身、朝の挨拶や授業中の姿勢、掃除の様子に現れている子どもたちのがんばりをしっかり見ていきたいと思います。

3年生が味噌作りに挑戦!

1月28日(火)に、楽しみにしていた味噌づくりを行いました。3・4年生で育てた大豆を使用しました。はじめに塩を量って、固まりがなくなるまで麴と混ぜました。その後、蒸した大豆を入れて混ぜ合わせました。「おいしくなあれ。」と唱えながら作業しました。最後に、ミンサーでミンチされたものをボール状にして桶に叩きつけて入れ、平らにしました。丁寧に教えていただいたり、最後に仕上げをしていただいたり、白山キッチンの上野さんと下野さんには大変お世話になりました。



味噌作りが終わった後は、「麴と塩を混ぜるのが面白かった。」「桶に強く落とすのが難しかった。」「みんなががんばったので美味しい味噌ができてほしい。」「どんな色に変わるのかが楽しみ。」と感想を書いていました。10月頃にできる予定です。自分たちの育てた大豆が美味しい味噌になる日が待ち遠しいようです。(白山小HPより)

音読発表会



1月29日(水)、3年生が「どきん」(谷川俊太郎)「山のとっぺん」(岸田衿子)「雪」(山村暮鳥)「いのち」(小海永二)の4つの詩の音読発表をしました。子どもたちはやや緊張していたものの、読み方を工夫したり、振り付けを入れたりしながら上手に発表してくれたので、聞く側は情景をイメージしやすかったです。自分なりに詩に向き合って、一つ一つの言葉や筆者の思いを想像しようとする熱心に学習していたことが伝わってきました。特に、擬声語や擬態語がたくさん使われている「どきん」は、聞く側の気持ちも楽しいものにしてくれました。